

令和8年度（2026年度）新規研究課題

課題番号：R08-06

課題名：「せとみ」の果頂部に発生する緑斑症の軽減対策

研究期間：令和8年～令和10年（2026年～2028年）

研究担当：農林業技術部 柑きつ振興センター

1 研究の背景

「せとみ」のうち、一定の品質基準を満たしたものは「ゆめほっぺ」として高価格で販売されている。しかし、近年、果頂部に発生する緑斑症が増加して外観を大きく損なっており、「ゆめほっぺ」の比率を低下させる大きな要因となっている。本症状に対し、現時点で有効な発生軽減策は確立されていない。

2 目的

「せとみ」の果頂部緑斑症に対する軽減技術を確立することで、果実の外観品質を向上させ、「ゆめほっぺ」の出荷比率を高める。

3 研究内容

「せとみ」の果頂部における緑斑症の発生と、栽培管理および環境条件との関連性を解明する。また、本症状は果皮の亀裂や病原菌の関与が推察されることから、植物調節剤による亀裂抑制や殺菌剤による感染防止策を含めた、総合的な軽減技術を確立する。

4 研究のポイント

本症状の発生しやすい着果位置や栽培条件の解明、有効な植調剤や殺菌剤の探索を通じて、その軽減策を明らかにし、これらを組み合わせることで「せとみ」の外観品質を向上させ、生産者の所得向上を実現する。

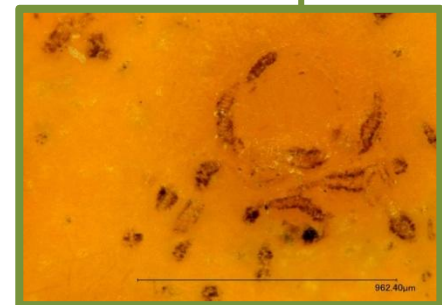
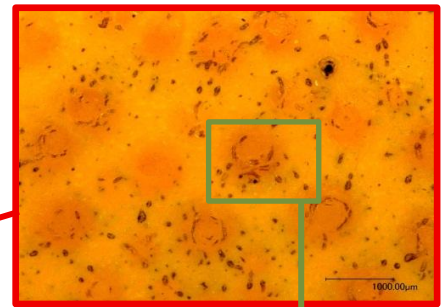
「せとみ」の果頂部に発生する緑斑症の軽減対策

農林業技術部 柑きつ振興センター



果頂部の緑斑症

果頂部の油胞周りに亀裂が発生し、着色が遅れるため緑色に見える。のちに褐色に変化。



油胞の周囲に生じた亀裂

研究内容

